



平成26年8月11日

各 位

会 社 名 株式会社 SmartEbook.com
代 表 者 名 代表取締役 假屋 勝
(JASDAQ・コード2330)
問 合 せ 先 取締役財務部長 飯田 潔
電 話 092-263-5911

平成26年12月期第2四半期業績と前年実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成26年12月期第2四半期（平成26年1月1日～平成26年6月30日）の連結業績と、前年実績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）の連結業績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成26年12月期（平成26年1月1日から平成26年6月30日）の連結業績と前年実績との差異
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
平成25年12月期第2四半期実績(A)	161	△685	△669	△683	円 銭 △31.16
平成26年12月期第2四半期実績(B)	197	△404	△388	△461	△21.05
増減額(B-A)	36	—	—	—	—
増減率(%)	22.4	—	—	—	—

(注) 平成25年11月5日開催の取締役会決議に基づき、平成26年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

2. 差異が生じた理由

平成26年第2四半期連結において、第1四半期と同様に営業損益の改善を図り安定した収益の確保及び不採算事業からの撤退、サービスの統廃合、海外サービスの閉鎖を行いました。売上に関しては国内サービスの効率的なプロモーションに特化し、前年同期比でスマートフォン売上が増加いたしました。原価、販売管理費面につきましてはプロモーション見直し、徹底したコスト削減を行いました。統廃合を行ったサイトのソフトウェア一括費用計上、その他事業遂行上の効率・縮小化に伴う事業整理損が発生し、四半期純損失となりました。

この結果、当社グループの連結業績につきましては、売上高197,806千円（前年同期比22.4%増）、営業損失404,178千円（前年同期は営業損失685,638千円）、経常損失388,879千円（前年同期は経常損

失669,855千円)、四半期純損失461,864千円(前年同期は四半期純損失683,825千円)となりました。

3. 特別損失の計上について

当社は平成26年12月期第2四半期連結累計期間において、事業整理損70百万円を計上致しました。

(事業整理損の内訳と金額)

(単位：百万円)

内訳	金額
(1) 従業員退職手当	37
(2) 契約解除に伴う解約・違約金	20
(3) 関連会社解散費用	6
(4) 本社縮小費用	4
合計	70

- (1) 海外連結子会社の解散及び本社従業員の希望退職の実施に伴う各種手当であります。
- (2) 事業規模縮小に伴う余剰な契約の解約諸費用であります。
- (3) 主に海外連結子会社の清算終了までに発生する費用又は損失であります。
- (4) 本社事務所の縮小に伴い発生する費用又は損失であります。

以上